

ナンバリング	科目名	サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
222BT14	交通英語2B	現場での活躍のための実力養成	福山 圭介	2年次後期	2
科目区分	専門	キーワード	Travel, Transportation, Tourism, Practical Expressions		
ディプロマポリシーとの対応	2. 交通産業および関連分野での基礎能力（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける				
事前に受講するとよい科目	基礎英語、交通英語入門、交通英語 A				
オフィスアワー	授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法	教員の短大メールアドレス				
講義の目的	将来、鉄道をはじめとした交通の現場で活躍するための英語の応用・実践力をつけることを目的とします。具体的には、駅窓口係・鉄道および航空機の乗務員・鉄道技術者などとして働くうえで必要になる英語のリスニング・スピーキングの標準的な力を養います。				
到達目標	交通英語 2A レベル程度の基礎的な表現を前提に、(1)相手の立場に立った英語での対応・表現ができるようになること、(2)状況に応じて過不足なく正確に英語で対応・表現ができるようになること(観光英語検定 2 級程度)				
講義内容	交通英語 2A の応用・実践編として、日本の交通機関を利用する英語話者に対応するための実践力を身につけます。また海外の交通機関についても英語で学習し、日本のシステムとの違いなどを議論します。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	オリエンテーション	授業方針の説明と簡単な聞き取り問題		
	第2講	Traveling in Japan(1)	Transportation from the Airport		
	第3講	Traveling in Japan(2)	Explaining how to buy a train ticket		
	第4講	Traveling in Japan(3)	Explaining Japan Rail Pass and Suica		
	第5講	Traveling in Japan(4)	Taking a Taxi		
	第6講	Traveling in Japan(5)	Taking a Bus		
	第7講	Traveling in Japan(6)	Explaining Subway Map		
	第8講	Traveling in Japan(7)	City Tours in Tokyo		
	第9講	Trains Overseas(1)	North America		
	第10講	Trains Overseas(2)	England, Australia		
	第11講	Trains Overseas(3)	France, Italy, Spain		
	第12講	Trains Overseas(4)	Germany, Northern Europe		
	第13講	Trains Overseas(5)	Eastern Europe, South America		
	第14講	Trains Overseas(6)	Asia		
第15講	まとめと演習	これまでの復習演習			
指導方法	上記の講義スケジュールに沿って、さまざまな聞き取り、映像の視聴、英語のクイズなどを行います。講義はパワーポイントスライドによる座学に加え、実践的なスキット演習も取り入れます。				
事前学習	授業前の事前学習として、授業内で指示された資料に目を通し、web 検索などで概要を調べておくこと。1 時間 30 分程度の学習時間が目安である。				
事後学習	授業後の事後学習として、授業内容をしっかり復習し、期限内に Google Classroom に課題を提出すること。1 時間 30 分程度の学習時間が目安である。				
成績評価方法	本試験 50% + 平常点(課題点)50%				
課題(試験・レポート)に対するフィードバックの方法	授業内で課題の講評を行う。必要に応じて Google Classroom でフィードバックを行う。				
テキスト	テキストは指定しません。				
参考文献	観光英検センター編『ベーシック観光英語』,三修社, 2014 年.				
実務家教員による授業	教員	経歴			
特記事項	原則として前期の交通英語 2 A のクラス分けと同じメンバーで行います。				